

Si-R G200 V02.50 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	データ通信モジュール	動作検証済みのデータ通信モジュールを追加しました。 ・U03 au (USB)
2	SNMP機能	SNMPv3利用時に本装置を再起動した場合にもsnmpEngineBoots値を更新可能としました。
3	トラッキング機能	node-trigger機能における監視タイムアウト(timeout)時間の設定範囲を拡張しました。 ・5秒～180秒 → 2秒～180秒
4	制御コマンド	usbctl restart コマンドに給電停止時間の設定パラメータ(wait)を追加します。なお、未指定時は従来と同様に3秒とし、3秒～3600秒の範囲内で指定可とします。
5	USBポート	USBポートで過電流を検出する場合に、給電を一旦停止し、給電再開を自動で行うように改善します。
6	データ通信モジュールファイル	データ通信モジュール情報定義ファイルの内蔵化対応を行いました。

Si-R G200 V02.50 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01.00～V02.16	受信ポートで1519バイトから装置で転送可能な最大受信長までの長さの packets を受信すると、MIBのIfnErrorsがカウントされる。
2	V01.00～V02.16	Pauseフレームを受信すると誤ってifnDiscardsおよびdot1dTpPortInDiscardsのMIB値が加算される。
3	V01.00～V02.16	IPsec通信負荷が高い状態時にIPsec SAの鍵更新が行われると、パケットがロストする可能性がある。
4	V02.11～V02.16	IPsec/IKEv1にて通信時にlifebyte指定で頻繁にIPsec SAの更新を行うと、以下のメッセージが出力されてIKEネゴシエーションに失敗する可能性がある。 "isakmp: phase2 information overflow."
5	V01.00～V02.16	学習済ARPエントリが誤って削除される可能性がある。
6	V01.00～V02.16	複数の接続先とIPsec/IKEv1にて通信時、IPsec SA更新に失敗することがある。 このとき、Responder側では"isakmp: phase2 information overflow."メッセージが出力される。
7	V02.11～V02.16	IPsec SA更新時の切り替え待ち時間の設定がある時に切り替え時間に到達する前にSA更新が複数回行われると、IKEが使用するメモリが解放されずに増え続けることがある。
8	V01.00～V02.16	offline policy-groupコマンドを実行しても、policy-groupが閉塞されない。
9	V01.00～V02.16	パケット送受信に関するインタフェース統計情報が正しくカウントされない場合がある。 ・接続先監視利用時にremoteインタフェースの受信パケット数がカウントされない。 ・Ether over IP構成でremoteインタフェースおよびブリッジインタフェースの受信パケット数がカウントされない。
10	V01.00～V02.16	フラグメントされたIPsecパケット(IPv6)受信時にエラーを検出すると、メモリが解放されずに増え続けることがある。
11	V01.00～V02.16	通信中にTraffic Class値書き換えの動的定義反映を行うと、装置が再起動することがある。
12	V01.00～V02.16	SNTPサーバ機能有効時、NTPクライアント側にて時刻同期に失敗することがある。
13	V01.00～V02.16	DHCPクライアント機能を有効な状態(装置アドレスがDHCPにより割り当てられる場合)で時刻情報提供サーバを指定すると、装置起動時に時刻情報が自動設定されないことがある。
14	V01.00～V02.16	過電流検出状態でusbctl restart コマンドを実行しても復旧せず、以降のusbctl restartコマンドが異常終了する。
15	V01.00～V02.16	IKE_AUTH交換メッセージの受信処理でエラーとなった場合にメモリーリークが発生する可能性がある。
16	V01.00～V02.16	通信中にether/lan定義のvlan設定の動的定義反映を行うと、装置が再起動する可能性がある。